

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート

平成29年1月30日 実施

取組推進方針	取り組み	まちづくり活動拠点施設の整備					
	担当課	市民協働課					
	スケジュール 取組み ジュール	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		取り組み内容	施工	供用開始	施設運用	施設運用	施設運用
		備考					
現況評価及び今後の方向性	自治会及びまちづくり推進組織の支援のため、瑞浪、土岐、明世地区の活動拠点となる施設の整備を検討します。 稲津、釜戸、大湫、日吉、陶地区の拠点については、これまでどおり、各コミュニティセンターを拠点施設として運用します。						

【取組状況など】

1. 本年度(現在まで)に取り組んだ内容

28年3月末に市役所西分庁舎(通称:まちづくりサポートセンター)が整備されました。1階には、その中核となる「まちづくり事務室」と「情報発信コーナー(夢サポの広場)」を設けました。現在、事務室には瑞浪地区と土岐地区の集落支援員が配置されています。夢サポの広場は、訪れた方が市内8地区のまちづくり推進組織の情報が得られるように運用しています。各組織は工夫を凝らし、ポスター掲示や案内チラシ等を設置しています。また、訪れた方が気軽に各地区まちづくり推進組織のホームページが閲覧できるようにパソコンを設置したほか、まちづくりの会合等で利用できるようにTVとDVDプレーヤーを設置しました。

2. 取組実施期間

通年(4月1日～3月31日)

3. 本年度(現在まで)の取組実績

- ・瑞浪地区、土岐地区の区長会やまちづくり推進組織の部会など、各種会合等で利用されています。
- ・市内8地区にあるまちづくり推進組織の行事案内のほか、各種団体等が実施する公益事業等案内ポスターの掲示を行いました。
- ・域学連携協定を締結している市内の3高等学校に掲示スペースの活用を呼びかけました。高等学校には、学校行事や発表などの掲示をしていただきました。

4. 現況評価

(1) 取り組んだ内容に対する評価

テーブルに並べた発行物に興味を持たれることが多くあり、中には手に取ってゆっくりご覧いただける方もあります。時には、発行物のバックナンバーや最新号の入手を希望される方もみえ、徐々にですがまちづくり活動の情報が拡散されていると感じています。しかしその反面、各地区が工夫を凝らしてはいますが、掲示物等の目新しさがなくなってきました。

(2) 5つの基本原則に関する評価

情報共有 : 夢サポの広場では、訪れた方に「市内8地区では、それぞれどのようなまちづくり活動が行われているか」を知っていただけるように、掲示物等を掲出しています。また、まちづくり推進組織以外の市民活動団体等から行事等周知についての相談があった際には、公益事業を行う場合に限り、掲示物の掲出やチラシ等の設置に協力するよう努めています。

(3) 評価に対する今後の取組み

- ・引き続きまちづくり関係の会議等において、本施設を積極的に使用します。
- ・選挙投票期間中には、5千人ほどの市民が訪れ、情報発信コーナーを目にいただいています。より多くの市民の方に興味をもっていただけるよう、夢サポの広場の充実を図ります。

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート

平成29年1月30日 実施

取組推進方針	取組み	まちづくり推進組織の活動等についての情報提供					
	担当課	市民協働課					
	スケジュール 取組み ジュール	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		取組み内容	広報・HPへの情報掲載	広報・HPへの情報掲載	広報・HPへの情報掲載	広報・HPへの情報掲載	広報・HPへの情報掲載
		備 考					
現況評価及び今後の方向性	広報、HP等によりまちづくり推進組織等の活動を紹介します。また、各組織の発信する情報(まちづくり組織の広報等)についても、配布等に協力します。						

【取組状況など】

1. 本年度(現在まで)に取り組んだ内容

広報みずなみ及び市ホームページにおいて、夢づくり地域交付金で行われる事業の紹介や行われた事業の報告を行いました。また、各地区においては、各地域のまちづくりホームページの運営やフェイスブックを利用した情報発信、まちづくり新聞の発行などが行われました。市役所西分庁舎の「夢サポの広場」においては、各地区のイベント情報を掲出するなど、様々な手法により市民に情報の発信を行いました。

2. 取組実施期間

通年(4月1日～3月31日)

3. 本年度(現在まで)の取組実績

- ・市ホームページに、各地区まちづくり推進組織のホームページへのリンクを添付しています。
- ・広報みずなみ及び市ホームページ等掲載により、事業の紹介をしました。
- ・夢サポの広場ほか、市民協働課窓口およびコミュニティーセンター窓口等に掲示物等の設置を行いました。
- ・他地区の情報が伝わるよう連絡箱を設けました。各地区がお互いに、掲示物等による情報提供をしています。
- ・情報を共有するため、まちづくり推進協議会連絡会の開催、およびまちづくり推進協議会連絡会と連合自治会の意見交換会を開催しました。

4. 現況評価

(1) 取り組んだ内容に対する評価

広報みずなみ及び市ホームページにおいて、夢づくり地域交付金で行われる事業の紹介や行われた事業の報告を行っていますが、関係者などを除き、広く一般の市民の方には、記事が目につきにくいことが課題だと考えます。情報拡散には、市の取組みだけでは限界があり、関係者や行事参加者からの「ロコミ」による部分が欠かせません。[行事等の案内] → [参加] → [参加者からの情報拡散] がうまく流れるよう、行事等の案内に力を入れる必要があります。

(2) 5つの基本原則に関する評価

情報共有 : 広く市民の皆さんに知っていただくよう、各地区まちづくり推進組織間の連絡、および連携を図っています。また、情報がまちづくり推進組織内だけで完結してしまわないように、各地区区長会長で組織する「連合自治会」にも情報を流すことで、各自治会単位にも催事等の情報が伝わるように配慮しています。

(3) 評価に対する今後の取組み

引き続き、広報および市ホームページでの情報発信を行うほか、「夢サポの広場」を有効活用した情報発信に努めます。「夢サポの広場」の利用状況をみながら、幅広い情報発信の手法を検討します。

瑞浪市市民まちづくり会議 取組概要説明シート

平成29年1月30日 実施

取組推進方針	取り組み	夢づくり地域交付金に若者枠を新たに拡充					
	担当課	市民協働課					
	スケジュール 取組み ジュール	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		取り組み内容	制度検討	制度検討	制度運用開始	制度運用	制度運用
		備 考			新規事業		
現況評価及び今後の方向性	夢づくりチャレンジ研究室の提案事業や地域で若者を対象にした事業の実施について、夢づくり地域交付金の拡充を検討します。						

【取組状況など】

1. 本年度(現在まで)に取り組んだ内容

若者の提案する事業が採択されることで、地域で従来必要として実施されている事業が資金不足により停滞することがないよう、交付金制度の検討を進めています。

2. 取組実施期間

通年(4月1日～3月31日)

3. 本年度(現在まで)の取組実績

- ・27年10月にチャレンジ研究室をスタートし1期生13名(2チーム)が1年間活動してきました。28年11月にはまちづくり推進組織に対し事業提案プレゼンテーションを行い、現在、事業実施についての採択判断が各まちづくり推進組織で行われています。
- ・28年10月にチャレンジ研究室2期生24名(4チーム)が活動をスタートしました。
- ・夢づくり地域交付金制度の枠組みについて、若者提案事業メニューの追加検討及び予算要求を行いました。

4. 現況評価

(1) 取り組んだ内容に対する評価

若者の提案する事業が採択されることにより、地域の方々と若者の協働の進捗のほか、担い手の育成や発掘という面においても効果が期待されるため、各地区のまちづくり推進組織には積極的に事業採択していただくよう呼びかけを行いました。地域で抱える課題の違いや、現状の活動を維持継続するための人員および労力も必要であるため、交付金拡充については、まちづくり推進組織の負担増、意欲の減退とにならないように配慮する必要があります。

(2) 5つの基本原則に関する評価

効率性 : 平成28年度は、通常事業分1,000万円、ステップアップ事業分600万円、合計1,600万円の夢づくり地域交付金が予算配分されました。予算は、各地区人口割額と均等割額の合計により地区毎の交付金上限額を設け、各地区の申請により交付金を交付しています。各地区が、「財政的な事情により若者が提案する事業が採択できない」ということが無いよう、これまで取り組んできた事業も実施でき、かつ新たな取組みとしてチャレンジできるように制度の検討、見直しをしていきます。

(3) 評価に対する今後の取組み

若者が提案する事業にかかる予算額がどの程度になるのか、適切に把握しながら予算の若者枠を運用していきます。若者の提案する事業が実現されるよう、適切な制度運用を行います。